留学体験記　（ショートプログラム）

より積極的な自分に。精神的にも一歩成長

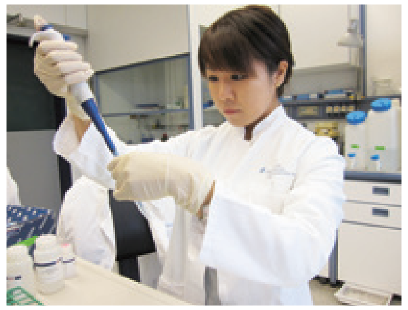
教育学部　**山田 悠梨乃さん**

シンガポール・スプリングセミナーに参加
（2013年3月）

午前の英語研修では、発音を基礎から習ったり、英語でシンガポールについて学んだりするだけでなく、クイズやショート劇、歌を歌ったりするなど、楽しく英語に触れることができました。特に、ここで学んだ発音はとても勉強になりました。また、たくさん発言する学生参加型の授業で、積極的に自分から発言する、挑戦するという精神をわきあがらせてくれました。午後は三井物産、オムロン、リコー、東南アジア研究所を訪問しました。社長さんなどから会社の歴史や活動について教えていただけたり、社内の様子や最新機械を見せていただけたりして、海外で働くことへの憧れと興味をもつようになり、今後自分の将来を考える上での選択肢を広げる良いきっかけとなりました。このプログラムに参加したことで、英語力の重要性を感じるとともに、長期留学への思いが強くなりました。経験的にも精神的にも一歩成長し、今までよりも積極性と行動力を持った新しい自分になることができたと思います。

留学体験記　（専門分野プログラム）

大学の授業だけでは得ることが出来ない貴重な経験



医学部　**湊 苑子さん**

留学先：ヘルムホルツ感染症研究センター（ドイツ）
留学期間：2013年10月～2013年11月

留学先のヘルムホルツ感染症研究センターでは、溶連菌を用いた実験を行いました。様々な実験手技を身に付けることが出来ただけではなく、実験計画の立て方なども勉強することができ、今後の研究を進める上でとても良い経験となりました。一流の研究者たちが何かを解明しようと日々研究をし、議論を重ねている様子を間近で見られたことも、大学の授業だけでは得ることができない貴重な経験でした。

また、研究所では、世界の様々な国から来ている研究者や学生と交流ができ、自分の知らなかった色々な文化や考え方を知ることができました。

海外で実習を行えたことは、自分の視野を広げ、自分の将来の可能性についても幅広く考えるきっかけとなりました。

留学体験記　（交換留学プログラム）

留学で得る事ができた、「通じる英語」と「世界各国の友達」

工学部　**戸田 大介さん**

留学先：ニューブランズウィック大学（カナダ）
留学期間：2012年9月～2013年4月

留学して得られたものについて取り上げます。まず語学力の向上についてです。「留学すれば、自然に英語が話せるようになる」というイメージがありましたが、当然ですがそんなことはありませんでした。機会を活かさずに英語に触れなければ上達しません。一方、英語を上達させようという姿勢があって積極的に話せば、当然ですが伸びます。留学するメリットを語学の面から考えた時に、言葉に触れる機会の他に、「通じる英語」を身につけられる点が大きいと思います。日本にいる海外の方は日本人の発音に慣れていますが、英語圏の人にとって日本語訛りの英語はとても通じにくいらしく、通じないことが多々ありました。日本語と違って英語は子音が強いこと、母音の種類が多いこと、アクセントが強いことなど、改めて実感する機会が多かったです。

次に、世界に関する認識です。カナダは国際的な国で、外国からの移民を積極的に受け入れており、国民の20パーセント以上が外国の出身者と言われています。大学では、世界各国の友達を作る機会に溢れています。世界中に友達ができると、世界中の国のことを知ることができます。世界の国々についての理解が深まっていくと、日本という国が分かってきます。中でも、日本の技術や日本食、マンガ・アニメなど、日本には誇れるものがたくさんあり、しかも世界的に認知されていることを知ることができました。それも日本の外に出て、世界を知ったから得られたものです。留学中は辛い経験もありましたが、留学するという決断は正解だったと強く思います。

新潟大学「国際交流・留学情報」のホームページ　http://www.niigata-u.ac.jp/intl/

※実施される留学プログラムは年度ごとに異なります。ホームページや留学ガイダンス等でご確認ください。

新潟大学　海外留学プログラム

Overseas Study Programs

ショートプログラム　専門分野プログラム　交換留学プログラム

GGJ
Go Global Japan

新潟大学
NIIGATA UNIVERSITY

国際社会で活躍する未来のリーダーを育てる

新潟大学の海外留学プログラム

国際センター長メッセージ Message

グローバルに活躍することを目指す皆さんを応援します。

留学は敷居が高いと思っていませんか。グローバル人材の育成を推進する新潟大学では、皆さんが留学しやすい環境を整えています。留学をするための情報を集めるには留学ガイダンスがありますし、皆さんの個別の質問には気さくに応じてくれる教職員がいます。留学プログラムとしては、初めて海外に行って語学を学び、異文化を体験するショートプログラムがありますし、自分の専門分野を深く学ぶためのプログラムに加え、1年間の交換留学も用意しています。新潟大学では、皆さんのニーズに応じた幅広いプログラムを、初めての語学研修から交換留学まで段階的に提供し、初めての人にとっては留学しやすく、より高いレベルを目指す学生諸君には挑戦しやすい環境を作っています。さらには皆さんが奨学金をもらえるチャンスを増やしています。新潟大学は、グローバルに活躍することをめざし、積極的にチャレンジする皆さんを応援します。

新潟大学国際センター長
教授　桑原　聡

海外で専門分野を本格的に学べる環境がある！

STEP 1

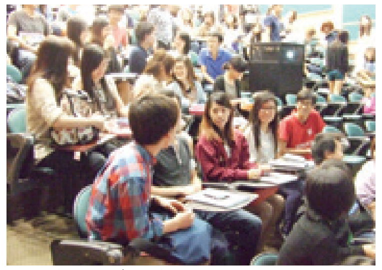
ショートプログラム　1週間から1ヶ月程度

まずは留学を体験してみよう！

語学研修・異文化体験等を目的とした、全学部の学生を対象としたプログラムです。海外の大学の学生寮に住んだり、ホームステイをして現地のファミリーと交流したり、海外の生活、異文化に触れることができます。

カナダ・サマーセミナー（アルバータ大学）

北京サマーセミナー（清華大学）



シンガポール・スプリングセミナー

オーストラリア多文化共生社会体験（クイーンズランド工科大学）

オックスフォード大学英語研修

よくある質問

Q. 1週間のプログラムでも語学力は向上しますか？

A. 日本で接する外国の方は、日本人が話す外国語に慣れていますが、海外ではなかなか理解してもらえないことも。実際に現地の人と触れ合うことで、理解し合うためにはどのようなことが必要なのかを体感し、コミュニケーションとは何かについて、深く考えるきっかけとなります。1週間で飛躍的に語学力が向上すると考えるのは現実的ではないですが、言葉を含むトータルな意味でのコミュニケーションについての理解が深まり、また、それ以降の学習のモチベーションが高まります。

こんな学生にオススメ！

- 海外に行ってみたい
- 語学を集中的に学びたい
- 異文化に触れてみたい

STEP 2

専門分野プログラム　1週間から1ヶ月程度

海外で専門分野を学ぼう！

各学部で用意している、それぞれの専門分野を学ぶためのプログラムです。たとえば、海外の裁判所で研修をしたり、医療現場で臨床研修を経験したり、各専攻に合わせたプログラムが組まれています。

裁判所での研修（法学部・韓国）

仏語・仏文化研修（人文学部・フランス）

熱帯林での演習（農学部・インドネシア）

海外での学会参加（工学部・韓国）

大学での歯科実習（歯学部・メキシコ）

看護実習室での体験学習（医学部保健学科・カナダ）

こんな学生にオススメ！

- 海外で専門分野の実習をしたい
- 同じ分野を学ぶ海外の学生と交流したい
- 国際会議で発表したい

STEP 3

交換留学プログラム　1学期間または2学期間

本格的に外国語や専門分野を学ぼう！

世界中の大学との間で結ばれた交流協定に基づき、一定期間、学生を海外の提携大学へ派遣する制度です。派遣先では外国語や専門科目等を学び、現地の学生や世界からの留学生と共に学ぶことができます。

ナント大学（フランス）

シドニー工科大学（オーストラリア）

仁荷大学（韓国）

ブリストル大学（イギリス）

こんな学生にオススメ！

- 飛躍的に語学力をアップさせたい
- 専門分野への理解をさらに深めたい
- 留学経験を将来に活かしたい

奨学金による支援も充実！　多くの学生が給付型奨学金を受給しています。

留学には確かにお金がかかりますが、新潟大学では奨学支援が充実しており、多くの学生が給付型奨学金（返還の必要のない奨学金）を受給して留学しています。最もメジャーな奨学金である（独）日本学生支援機構（JASSO）の奨学金は、学生ではなく大学がJASSOに申請しますが、この奨学金の獲得件数は全国でもトップレベル（2014年度は全国の大学中10位）で、2012年度以降は成績等の条件を満たす学生ほぼ全員に奨学金を支給することができています。この他に、大学独自の奨学金も用意しています。これらの制度により、2013年度に交換留学を開始した学生は、7割近くが月額6～8万円の奨学金を受給しています。短期のプログラムもほとんどが奨学金支給対象プログラムとなっており、成績等の条件を満たせば6～10万円の奨学金を受給することができます。

少しでも留学に興味を持ったら、まずは「新潟大学　国際交流・留学情報」のホームページをご覧ください。春と秋には全学生向けの「留学ガイダンス」を開催し、五十嵐キャンパス内の「国際課」では、「留学カウンセラー」資格を持つ職員が皆さんからの相談をお待ちしています。

○ショートプログラム参加にかかる費用と奨学金の例

プログラム名	シンガポール・スプリングセミナー	オーストラリア多文化共生社会体験
期間	10日間	5週間
参加費（旅行代金、授業料、宿泊費、保険料等）※	約26万円	約61万円
JASSO奨学金	10万円	14万円（7万円×2ヶ月分）
JASSO奨学金の支給がある場合の自己負担額	約16万円	約47万円

※パスポート取得に係る費用、小遣い等は別途必要になります。